

事務事業評価調書

事務事業名	環境影響評価事務事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成10年	改正内容	対象事業の見直し、環境影響評価の手続きの充実、環境コミュニケーションの方法の改善											
(2) 直近の改正	平成24年													
(3) 根拠法令等	環境影響評価法、大阪府環境影響評価条例、吹田市環境まちづくり影響評価条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	3	細節	30							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	一定規模以上の事業を行おうとする事業者											
	目標(どういう状態にしたいのか)	環境の保全及び良好な環境の保全のための効果的な取組を推進												
	結果(どのような効果が得られるのか)	持続可能なまちづくりの推進												
(7) 事業概要	一定規模以上の事業の実施に先立ち、事業者が環境への影響について調査・予測及び評価を行った結果を公開し、住民意見や学識経験者から構成される審査会による科学的な審査及びこれらを踏まえた市長意見を勧告し、環境の保全及び創造のための取組を検討、実施するための制度です。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	12	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,151	204	689	262	588							
	人件費	職員数	人	2.50	1.50	1.50	1.50	2.00						
		総額(B)	千円	20,750	11,921	12,528	12,528	16,340						
	総事業費(A+B)		21,901	12,125	13,217	12,790	16,928							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		21,901	12,125	13,217	12,790	16,928						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		21,901	12,125	13,217	12,790	16,928						
財源計(C+D)		21,901	12,125	13,217	12,790	16,928								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 環境影響評価審査会開催数	目標値	(単位:回)	19.00	12.00	10.00
			実績値	(単位:回)	3.00	3.00	
			達成度(%)		15.8	25.0	
	目標値の積算方法 審査対象案件あたり年10回(事後調査案件含む)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		6,690.67	4,263.33	
			一般財源(単位:千円)		6,690.67	4,263.33	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難 な 場合 示 す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
				0.0	0.0		
①	活動内容	環境まちづくり影響評価条例に基づき、事業者に対して指導・誘導を行う。			目標	事後調査計画書に記載した内容が正しく事業に反映されること。	
	成果内容	環境まちづくり影響評価条例の手続きを経ることにより形成された市の意見内容が正しく事業に反映されること。			達成状況	概ね反映されている。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>本事業は、一定規模以上の事業の実施に先立ち、事業者自らが環境への影響を予測・評価し、環境の保全及び創造のための取り組みを検討・実施するための制度を運用するものであり、本市のまちづくりにおいて、重要な役割を果たしています。</p> <p>本事業を実施するための費用としては、審査会の運営、住民等の意見書のとりまとめ等の制度運用に係る人件費が大半を占めますが、本事業の効果である、適正に環境配慮され持続可能な都市環境の享受は、現在及び将来の市民にとってニーズの高いものであり、本市のまちづくりに対する責務として継続すべき事業であると考えます。</p>				

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	環境影響評価事務事業	事業区分	その他
事務事業番号	00626				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	00626
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>住民にとって関心の高い大規模な事業に対して、意見交換会等により住民は環境の保全等の観点から意見を述べる機会が確保されています。また、事業者は、計画の初期段階での手続きであることから、住民意見・市長意見を受けての計画の変更も比較的容易であり、本条例により環境コミュニケーションを図ることで、その後の手続きを円滑に進めることが可能になります。したがって、住民、事業者、行政にとってメリットのある制度といえます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

環境影響評価法の改正(平成25年4月施行)が行われ、計画段階配慮事事項の検討及び環境保全措置の結果報告等の手続きが追加され、計画段階配慮事項に係る技術ガイドも示されました。

事務事業評価調書

事務事業名	環境マネジメントシステム運用事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成21年度	改正内容	実績やデータの更新及び更なる取組の推進											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	「地球温暖化対策の推進に関する法律」「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」他													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	3	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市の事務事業											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市の事務事業における環境配慮の推進												
(7) 事業概要	ISO14001の運用で培ったノウハウを基盤とした本市独自の環境マネジメントシステムであり、温対法で策定を義務付けられている地方公共団体実行計画(吹田市役所エコオフィスプラン)に基づくものです。市の事務事業における環境配慮を徹底するため、職場ごとに省エネルギー省資源に関する目標を設定し自主的に取り組み、全庁的に内部環境監査を実施することを通じて、職員の更なる環境意識の向上を図るとともに、市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量削減を進めます。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	12	大事業	3	中事業	2	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		110	22	110	72	95							
	人件費	職員数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
		総額(B)	千円	8,300	7,947	8,352	8,352	8,170						
	総事業費(A+B)		8,410	7,969	8,462	8,424	8,265							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		8,410	7,969	8,462	8,424	8,265							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		8,410	7,969	8,462	8,424	8,265								
財源計(C+D)		8,410	7,969	8,462	8,424	8,265								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 環境政策室主催の職員研修への述べ参加者数	目標値	(単位:人)	300.00	300.00	300.00	
			実績値	(単位:人)	301.00	262.00		
			達成度(%)		100.3	87.3		
	目標値の積算方法	過去の実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		26.48	32.15	
				一般財源(単位:千円)		26.48	32.15	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容 本市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量	目標値	(単位:t-CO2)	71,000.00	75,800.00	75,000.00
	実績値			(単位:t-CO2)	75,000.00	81,000.00		
	達成度(%)			105.6	106.9			
	目標値の積算方法	「大阪府地球温暖化の防止等に関する条例」の届出に基づく (平成27年度目標値より排出係数変更)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.11	0.10	
				一般財源(単位:千円)		0.11	0.10	
				達成度(%)		0.0	0.0	
②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00		
		実績値	(単位:)	0.00	0.00			
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	<p>本市では、第2次環境基本計画における目標の一つである「エネルギーを適正に利用できる低炭素社会への転換」を実現するためのアクションプランとして、平成22年度に「地球温暖化対策新実行計画」を策定し、その重点施策の一つとして「吹田市役所エコオフィスプラン」を位置づけています。</p> <p>また、「エコオフィスプラン」は温対法において自治体に策定が義務付けられている実行計画にも該当します。</p> <p>本市が市内における一大事業者として、環境に配慮した行動に率先して取り組むことで、市民・事業者の環境保全活動の促進を図り、市域における温室効果ガス削減を目指すため、第2次環境基本計画に掲げる削減目標に向け、継続して取り組むべき事業と考えます。</p>						

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	環境マネジメントシステム運用事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00629				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	00629
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成22年度にISO14001の認証を返上し、事業費(審査費用)の削減を図った上で、各職場が取り組みやすい全庁的な環境マネジメントシステムへと移行しました。PDCAサイクルを活用し、環境法令等の届出に必要なデータを含む様式により、各職場が進行管理を行うことで、照会事務の効率化を図っていますが、業務手法のさらなる改善を行い、継続的かつ効果的な温室効果ガス排出削減に努めたいと考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	環境審議会運営事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和47年度	改正 内容	吹田市環境基本条例の制定により、公害対策審議会から環境審議会に改定											
(2)	直近の改正	平成9年度													
(3)	根拠法令等	吹田市環境基本条例													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	3	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	環境基本計画並びに環境の保全及び創造に関する施策等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	総合的かつ計画的な推進												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	現在及び将来の市民の安全で健康かつ快適な生活の確保												
(7)	事業概要	環境審議会は、市長の諮問に応じ、環境基本計画に関する事、環境の保全及び創造に関する基本的事項について調査審議を行い、答申します。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	12	大事業	3	中事業	3	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		456	109	406	219	305							
		人件費	職員数	人	1.00	1.10	1.00	1.00	0.50						
			総額(B)	千円	8,300	8,742	8,352	8,352	4,085						
		総事業費(A+B)		8,756	8,851	8,758	8,571	4,390							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		8,756	8,851	8,758	8,571	4,390							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			8,756	8,851	8,758	8,571	4,390								
財源計(C+D)		8,756	8,851	8,758	8,571	4,390									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	開催回数(部会含む)	目標値	(単位:回)	3.00	3.00	/
			実績値	(単位:回)	1.00	2.00		
		達成度(%)		33.3	66.7			
	目標値の積算方法	開催見込み回数(部会含む)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		4,083.00	4,285.50	
				一般財源(単位:千円)		4,083.00	4,285.50	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	第2次環境基本計画の進捗	目標値	(単位:なし)	0.00		0.00
			実績値	(単位:なし)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	第2次環境基本計画の進捗	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	吹田市第2次環境基本計画に基づく各施策の進捗状況の把握及び評価、施策への反映を通じ、計画の着実な推進に寄与することです。			達成状況	概ね達成しています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		事業の実施は必須であるため、より効率的な運営ができるよう検討しながら継続します。					

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	環境審議会運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00630				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	00630
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	5	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	5														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>環境審議会は環境基本計画の進捗管理をはじめ、環境の保全と創造に向けた市の様々な施策を審議検討する機関であり、環境基本条例で設置が義務付けられています。本審議会は効率的な運営を行っており、吹田市の環境行政の根幹の形成に大きく寄与しています。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	環境啓発事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成7年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、吹田市環境基本条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	3	細節	40							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	地域住民、学校、NPO団体、事業者、行政等の様々な主体												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	地域における環境保全活動に積極的に参加するなどの実践的な能力・態度の育成												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	環境に配慮した行動やライフスタイルの確立、より良い環境づくりに向けた意識の高揚												
(7) 事業概要	環境教育を通じて、来場者に環境問題について理解と協力を求め、環境に配慮したライフスタイルの確立や、より良い環境づくりに向けた意識の高揚を図ります。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	12	大事業	5	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		400	400	400	282	400							
	人件費	職員数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
		総額(B)	千円	8,300	7,947	8,352	8,352	8,170						
	総事業費(A+B)		8,700	8,347	8,752	8,634	8,570							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		8,700	8,347	8,752	8,634	8,570							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		8,700	8,347	8,752	8,634	8,570								
財源計(C+D)		8,700	8,347	8,752	8,634	8,570								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	市民、事業者、行政で組織する運営委員会												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 来場者数	目標値	(単位:人)	1,000.00	1,000.00	1,000.00
			実績値	(単位:人)	623.00	592.00	
		達成度(%)		62.3	59.2		
	目標値の積算方法 実績を勘案して設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		13.40	14.58	
			一般財源(単位:千円)		13.40	14.58	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	毎年、多数の参加者があり、環境保全等に関する意識の向上が図られています。			達成状況	参加者の地球環境及び地域環境の保全活動に積極的に参加するなどの実践的な能力・態度の育成が図られています。
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明	市民や事業者が環境学習・環境教育に積極的に参加できる場を設け、低炭素型のライフスタイルや事業活動に転換することを促進し、学校における取組を拡大するため学校教育と連携する効果的な環境学習・環境教育を継続的に行うべきであると考えています。					

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	環境啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	00631				

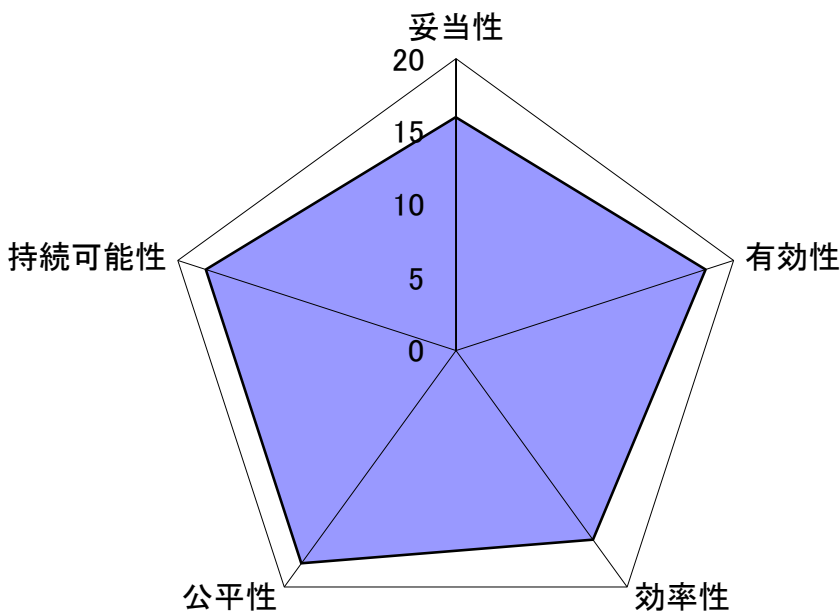
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	00631
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市民や事業者が環境学習・環境教育に積極的に参加できる場を設け、低炭素型のライフスタイルや事業活動に転換することを促進し、学校における取組を拡大するため学校教育と連携する効果的な環境学習・環境教育を実施しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

環境を軸とした成長を進める上で、環境保全活動や行政・企業・民間団体等の協働がますます重要になっています。国連の「持続可能な開発のための教育(ESD)の10年」の動きや、学校における環境教育の関心の高まりなどを踏まえ、自然との共生の哲学を活かし人間性豊かな人づくりにつながる環境教育をなお一層充実させる必要があります。
「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」(2011年6月改正)では、地方自治体における推進枠組みを具体化し、学校教育における環境教育を充実させるよう定められています。

事務事業評価調書

事務事業名	再生資源集団回収実施団体に対する報償金交付事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和55年度	改正 内容	様式変更											
(2) 直近の改正	平成18年度													
(3) 根拠法令等	再生資源集団回収実施団体に対する報償金の支給に関する要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	3	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	市内の自治会等各種団体で古紙等の集団回収を定期的に行っている団体												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	ごみ減量と資源の有効利用、ごみ問題の意識向上のために報償金を支給												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	古紙等を資源として回収、有効利用されることにより、ごみの減量、省資源、省エネルギー大きな効果をもたらすと同時にリサイクル活動の推進を図ります。												
(7) 事業概要	再生資源の集団回収を促進し、ごみの減量と資源の有効利用、併せてごみ問題の意識向上を図るため、市内の自治会・こども会等の再生資源集団回収実施届出団体に対し、回収量1kgあたり7円の報償金を支給するものです。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	2	目	1	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		73,009	68,151	71,745	65,692	70,756							
	人件費	職員数	人	1.00	1.30	1.00	1.00	1.00						
		総額(B)	千円	8,300	10,332	8,352	8,352	8,170						
	総事業費(A+B)		81,309	78,483	80,097	74,044	78,926							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		81,309	78,482	80,097	74,044	78,926							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		81,309	78,482	80,097	74,044	78,926						
財源計(C+D)		81,309	78,482	80,097	74,044	78,926								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	再生資源集団回収実施団体数	目標値	(単位:団体)	460.00	462.00	461.00
			実績値	(単位:団体)	461.00	460.00	/	
		達成度(%)			100.2	99.6		
	目標値の積算方法	前年度実績以上	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		165.07		160.97
				一般財源(単位:千円)		165.07	160.97	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)			0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容	再生資源回収量	目標値	(単位:トン)	12,110.00	12,610.00
	実績値			(単位:トン)	9,712.94	9,360.02	/	
	達成度(%)			80.2	74.2			
	目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		7.83		7.91
				一般財源(単位:千円)		7.83	7.91	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		新聞や雑誌等の発行部数が減っている中、資源化可能物を徹底分別し有効利用するためには、回収実施団体を増やしていく必要があります。					

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	再生資源集団回収実施団体に対する報償金交付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00632				

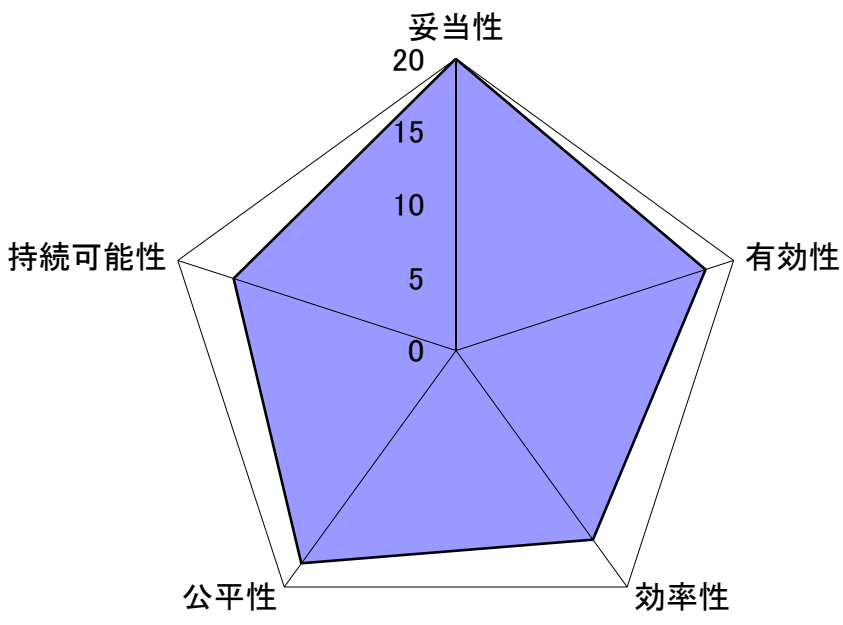
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	00632
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>集団回収は年間約10,000tの回収量があり、行政回収を行い破碎選別工場で処理すればその処理費用は人件費を除いて約10円/kg程度かかるため、集団回収を拡充する方が行政コスト削減に繋がると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	ごみ減量・再資源化啓発事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	手数料改正											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	3	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市民及び吹田市内で活動を行う事業者や団体等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	ごみに対する市民等の自主活動の強化・拡大を図るため、ごみの減量・再資源化の啓発を行います。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	ごみ減量及び資源の有効利用意識の向上に一定の効果をもたらします。												
(7)	事業概要	三者協働(市民・事業者・行政)による協議会において、ごみ減量やライフスタイルの見直しにつながるレジ袋削減の取組みを行います。地域に密着した啓発活動のため廃棄物減量等推進員各地区連絡会にごみ減量・再資源化推進活動啓発業務を委託します。家庭から出る廃食用油を回収する拠点を拡大することにより、ごみの減量・資源のリサイクルについて促進を図るとともに啓発に努めます。多量排出事業者に対し、減量計画書にもとづき、ごみの資源化・減量について指導を行うと同時に研修会等を実施します。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	2	目	1	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		339	184	288	115	478							
		人件費	職員数	人	3.00	1.50	1.50	1.50	2.00						
			総額(B)	千円	24,900	11,921	12,528	12,528	16,340						
		総事業費(A+B)		25,239	12,105	12,816	12,643	16,818							
		特定財源(C)		0	59	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	59	0	0	0							
		市負担(D)		25,239	12,046	12,816	12,643	16,818							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	52		0	60	124	0									
一般財源	25,187		12,046	12,756	12,519	16,818									
財源計(C+D)		25,239	12,105	12,816	12,643	16,818									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市廃棄物減量等推進員地区連絡会										
				②											
				③											
		主な委託内容		ごみ減量・再資源化推進活動啓発業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 ごみ減量・再資源化啓発委託業務	目標値	(単位:地区数)	10.00	10.00	10.00	
			実績値	(単位:地区数)	8.00	6.00		
			達成度(%)		80.0	60.0		
	目標値の積算方法	予算数値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3,003.13	2,107.17	
				一般財源(単位:千円)		2,995.75	2,086.50	
	②	指標内容 環境施設見学会	目標値	(単位:回)	0.00	0.00	3.00	
実績値			(単位:回)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 ごみの排出量 ごみの発生量(廃食用油含む)+集団回収量	目標値	(単位:t)	114,299.00	112,528.00	109,556.00	
			実績値	(単位:t)	113,145.77	114,081.56		
			達成度(%)		99.0	101.4		
	目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.21	0.11	
				一般財源(単位:千円)		0.21	0.11	
	②	指標内容 再生資源集団回収量	目標値	(単位:t)	12,110.00	12,610.00	12,975.00	
実績値			(単位:t)	9,712.94	9,360.02			
達成度(%)			80.2	74.2				
目標値の積算方法		一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2.47	1.35	
	一般財源(単位:千円)				2.47	1.34		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		市民、事業者のごみ減量・資源化に対する意識の向上を図るためには、啓発事業の継続的な取り組みが必要です。					

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	ごみ減量・再資源化啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	00633				

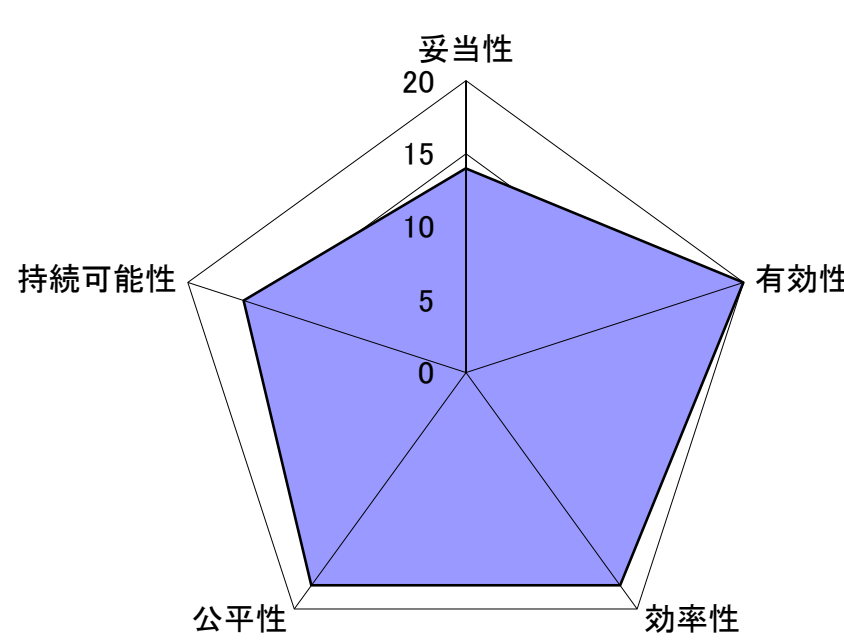
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	00633
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>啓発活動を推進することにより、市民、事業者のごみ減量・資源化に対する意識の向上が図られ、成果としてごみ総排出量が減量傾向にあります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	廃棄物減量等推進員事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成7年度	改正 内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等	吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり											
	節	3												
	細節	20												
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	一般廃棄物の減量と適正な処理の推進に理解と熱意を有する市民のうち市長が委嘱する者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	一般廃棄物の減量のための施策への協力、市民の自主的活動の推進等の活動を行います。												
	ごみの適正な排出の指導及び啓発活動を行うことにより、廃棄物の適正な処理を促し、資源化対策の推進を図ります。													
(7) 事業概要	地域での分別収集の指導・啓発などの自主的活動やごみの減量・再資源化の取り組みを実践する推進員を育成し、市のごみ減量施策に協力していただくことにより地域住民のごみ問題の意識向上を図ります。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	2	目	1	大事業	3	中事業	2	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		52	48	571	336	397							
	人件費	職員数	人	1.00	1.10	1.00	1.00	1.00						
		総額(B)	千円	8,300	8,742	8,352	8,352	8,170						
	総事業費(A+B)		8,352	8,790	8,923	8,688	8,567							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		8,352	8,790	8,923	8,688	8,567							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		8,352	8,790	8,923	8,688	8,567						
財源計(C+D)		8,352	8,790	8,923	8,688	8,567								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	廃棄物減量等推進員委嘱者数	目標値	(単位:人)	500.00	500.00	500.00
			実績値	(単位:人)	434.00	433.00		
		達成度(%)				86.8	86.6	
	目標値の積算方法	廃棄物減量等推進員委嘱者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		18.42	20.06	20.06
				一般財源(単位:千円)		18.42	20.06	
	②	指標内容	廃棄物減量等推進員ブロック別研修会参加者数	目標値	(単位:人)	438.00	434.00	433.00
実績値				(単位:人)	95.00	106.00		
達成度(%)					21.7	24.4		
目標値の積算方法		廃棄物減量等推進員数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		84.16	81.96	81.96
				一般財源(単位:千円)		84.16	81.96	
(2) 成果指標		①	指標内容	ごみの排出量 ごみの発生量(廃食用油含む)+集団回収	目標値	(単位:t)	114,299.00	112,528.00
	実績値			(単位:t)	113,145.77	114,081.56		
	達成度(%)				99.0	101.4		
	目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.07	0.08	0.08
				一般財源(単位:千円)		0.07	0.08	
	②	指標内容	廃棄物減量等推進員活動報告書提出者数	目標値	(単位:人)	438.00	434.00	433.00
実績値				(単位:人)	80.00	110.00		
達成度(%)					18.3	25.3		
目標値の積算方法		廃棄物減量等推進員数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		99.94	78.98	78.98
	一般財源(単位:千円)				99.94	78.98		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		ごみ減量・再資源化に関する市民の自発的な行動を促進していくためには、廃棄物減量等推進員事業を継続し、各推進員が、地域でのごみ減量・再資源化の指導や啓発を適切に実施していくことが必要です。しかし、事業創設から20年を経て、形骸化している面もあり、事業目的の効果的な達成に向け抜本的な見直しが必要となっています。					

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	廃棄物減量等推進員事業	事業区分	その他
事務事業番号	00634				

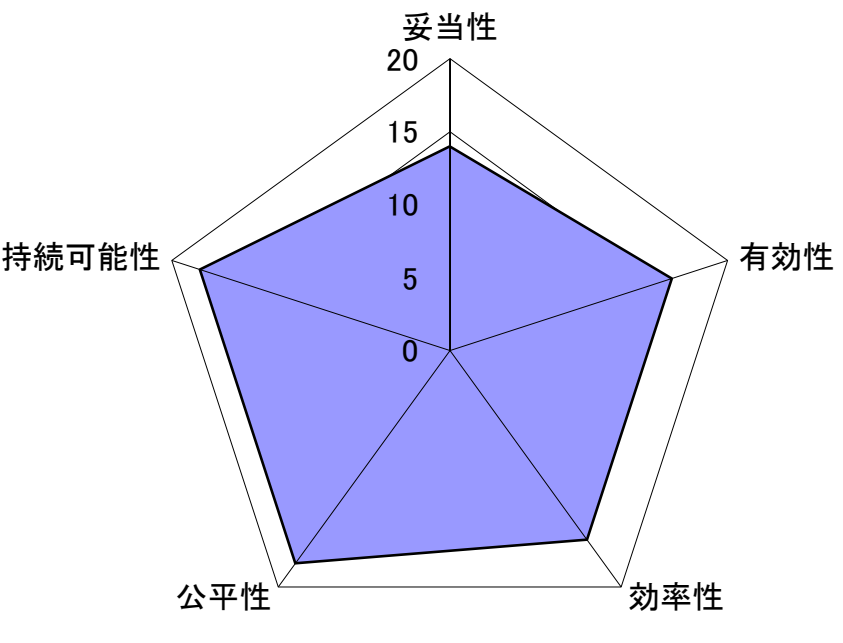
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	00634
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>廃棄物減量等推進員事業は、市民のごみ減量に対する意識の向上につながる重要な施策と考えますが、自治会の役員任期の都合上1年間の活動しかできないケースがあるなど、地域での活動が十分にできていない現状があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	資源リサイクルセンター事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成4年度	改正内容	指定管理者選定委員会の設置											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	吹田市資源リサイクルセンター条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	3	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	市内外からの来館者(年齢性別を問わない)、市民団体、行政、企業												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	市民工房や教室・講座、イベント開催などにより、環境を守る意識と行動を啓発する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	廃棄物の減量・再資源化並びに再生利用を促進し、快適な生活環境づくりと循環型社会の形成を図る。												
(7) 事業概要	(公財)千里リサイクルプラザを指定管理者に指定し、資源リサイクルセンターを拠点として、ごみの発生抑制を基調とした循環型社会を構築するため、市民工房の運営・実践教室や講座の開催など、多様な活動を行います。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	2	目	6	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		48,733	47,418	50,999	49,752	50,536							
	人件費	職員数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
		総額(B)	千円	8,300	7,947	8,352	8,352	8,170						
	総事業費(A+B)		57,033	55,365	59,351	58,104	58,706							
	(内訳)	特定財源(C)		0	335	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	335	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		57,033	55,030	59,351	58,104	58,706						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		150	0	181	288	334						
		一般財源		56,883	55,030	59,170	57,816	58,372						
財源計(C+D)		57,033	55,365	59,351	58,104	58,706								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(公財)千里リサイクルプラザ										
			②											
			③											
	主な委託内容		市民工房運営、教室・講座開催、施設の管理											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	視察・工房見学者	目標値	(単位:人)	16,917.00	13,000.00	14,200.00
			実績値	(単位:人)	12,086.00	11,782.00		
		達成度(%)				71.4	90.6	
	目標値の積算方法	過去3年間の実績の1割増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		4.58	4.93	
				一般財源(単位:千円)		4.55	4.91	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容	ごみの排出量 ごみの発生量(廃食用油含む)+集団回収量	目標値	(単位:t)	114,299.00	112,528.00	109,556.00
			実績値	(単位:t)	113,145.77	114,081.56		
		達成度(%)				99.0	101.4	
	目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.49	0.51	
				一般財源(単位:千円)		0.49	0.51	
	②	指標内容	再生資源集団回収量	目標値	(単位:t)	12,110.00	12,610.00	12,975.00
実績値			(単位:t)	9,712.94	9,360.02			
達成度(%)					80.2	74.2		
目標値の積算方法		一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		5.70	6.21	
	一般財源(単位:千円)				5.67	6.18		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		活動指標の視察・工房見学者数及び成果指標のごみの排出量及び再生資源集団回収量は、若干の増減はあるもののほぼ横ばいになっています。 費用対効果の面から考えると、事業経費は、平成27年度より「地球温暖化の防止等を含む循環型社会の構築・推進」に関する啓発事業を実施した関係で増加しているが、それを除けば横ばいであり適正と考えます。また、事業の内容に関しては、本市からの委託事業と(公財)千里リサイクルプラザの自主事業の線引きを明確にしつつ、精査・見直しを行う余地が残されています。					

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	資源リサイクルセンター事業	事業区分	その他
事務事業番号	00635				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	環境政策室	事務事業番号	00635
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成27年度(2015年度)より、平成25年度末で廃止した吹きガラス工房に代わる事業として、「地球温暖化の防止等を含む循環型社会の構築・推進」に関する啓発事業の市民向け連続セミナー等を開催しています。なお、当事業に係る予算は1,600,000円(消費税は除く。)を上限としています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>資源リサイクルセンターが開設されて24年が経過し、近年、家庭系のごみ排出量も年々減少しています。これは、リサイクルセンターにおいて取り組んできたごみ減量、再資源化及び再生利用に関する様々な事業が一翼を担っており、ひいては循環型社会の形成にも寄与していると考えられます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成25年度に「廃棄物処理関連施設包括的管理運営事業基本方針」を決定しました。その中において、資源リサイクルセンターの今後の事業について、啓発内容を地球温暖化といったことへも拡大・シフトすること、幅広い年齢層の参加促進を図ることとしています。

事務事業評価調書

事務事業名	廃棄物処理施設整備費積立事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成5年度	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	地方自治法(昭和22年法律第67号)第241条第1項 吹田市積立基金条例													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	3	細節	20							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	廃棄物処理施設の整備資金積立て												
		目標(どういう状態にしたいのか)	安定したごみ処理の確保、環境負荷の軽減を図るための事業財源への充当												
		結果(どのような効果が得られるのか)	安定したごみ処理の確保、ごみの減量と資源回収の推進に係る事業財源の確保と軽減												
(7)	事業概要	廃棄物処理施設である、資源循環エネルギーセンター及び破碎選別工場の建設及び大規模修繕等に計画的に対応する必要があるため、基金を積立てます。													
(8)	H27事業別予算コード	会計	1	款	4	項	2	目	7	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		9	6,610	0	14	408							
		人件費	職員数	人	0.50	0.70	0.30	0.30	0.20						
			総額(B)	千円	4,150	5,563	2,506	2,506	1,634						
		総事業費(A+B)		4,159	12,173	2,506	2,520	2,042							
		特定財源(C)		0	610	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	610	0	0	0						
		市負担(D)		4,159	11,563	2,506	2,520	2,042							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		9	0	0	14	408						
一般財源			4,150	11,563	2,506	2,506	1,634								
財源計(C+D)		4,159	12,173	2,506	2,520	2,042									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	預金金利の積立てや会計室による債権の購入など。													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	廃棄物処理施設の整備費に充当する整備基金へ毎年度金利等を積み立てています。(銀行への預金や債券購入等基金の運用については、会計室が実施)			目標	廃棄物処理施設整備基金への積立て
	②	成果内容	大規模修繕に必要な経費は、国の交付金と一般財源で賄っていましたが、積み立てた基金を繰り入れることで、世代間の費用負担の公平性をはかっています。			達成状況	破砕選別工場延命事業への財源充当
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		廃棄物処理施設の建設に係る莫大な費用は、各世代が応分に負担する必要があることから、計画的な資金計画が求められます。今後、廃棄物処理施設の建替え計画等が策定されれば、国等の交付金や起債も含めた綿密な資金計画を立てるとともに、計画的な積立を検討します。				

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	廃棄物処理施設整備費積立事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00636				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	環境政策室	事務事業番号	00636
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価点数 (0-20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価点数 (0-20)	妥当性	18	有効性	15	持続可能性	10	公平性	5	効率性	2
視点	評価点数 (0-20)														
妥当性	18														
有効性	15														
持続可能性	10														
公平性	5														
効率性	2														
(3)現状分析	<p>廃棄物処理施設整備に要する莫大な費用は、世代間で公平に負担する必要があることから、計画的な積立てが求められます。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	環境情報データ収集・解析事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成23年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	吹田市環境基本条例、吹田市第2次環境基本計画							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	3	細節	30	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	市域全体						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	市域全体の熱環境マップを作成し、地域別データを把握する。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	都市の熱環境が改善され、快適で持続可能な都市を実現。							
(7)	事業概要	重点的にヒートアイランド対策が必要な地域を指定し、開発事業者に対策の実施を指導するため、熱環境マップを作成し、その施策の成果を把握するため、継続的に市域の熱環境の状況を調査します。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	なし				
				②					
				③					
		主な委託内容		なし					
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	今年度実施なし							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)		
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/		
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00				
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00					
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:なし)	0.00	0.00	/		
			実績値	(単位:なし)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00				
	②	指標内容	目標値	(単位:なし)	0.00	0.00		/	
			実績値	(単位:なし)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00					
(3) が困難な場合	①	活動内容	市域での継続的な熱環境の状況把握			目標	都市の熱環境が改善され、快適で持続可能な都市の実現		
	②	成果内容	なし			達成状況	なし		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明		環境保全度の高いまちづくりを目指すため、今後も継続的にデータの集積・解析を行っていく必要があります。						

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	環境情報データ収集・解析事業	事業区分	その他
事務事業番号	01300				

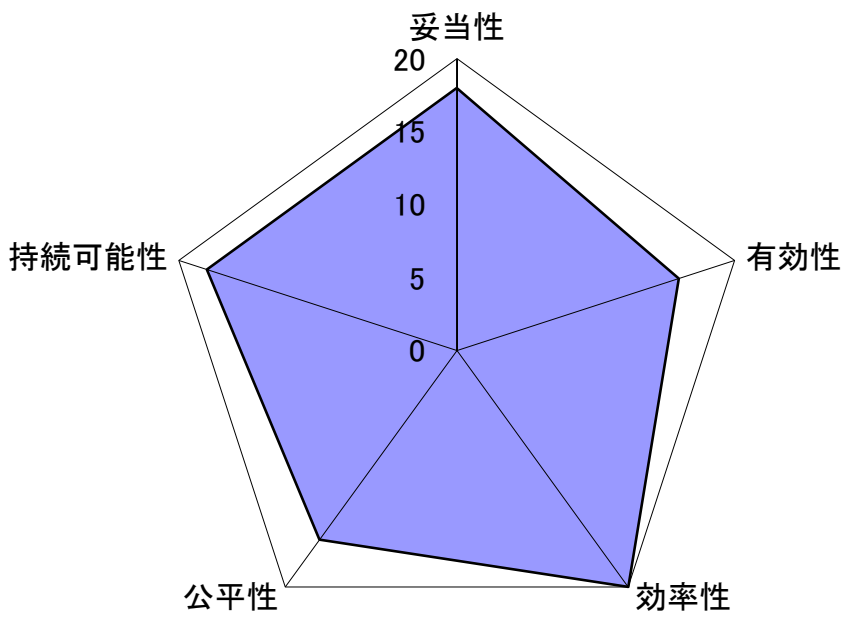
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	01300
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成23年度に作製した熱環境マップを基に、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】を通じて開発事業者等へ指導・誘導を実施しており、市内のヒートアイランドの状況について継続的に把握を行う必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	まちなか水族館事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成16年度	改正 内容	なし					
(2) 直近の改正	なし							
(3) 根拠法令等	吹田市環境基本条例、吹田市第2次環境基本計画							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	2	細節	21	
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市内在住、在勤、在学の人					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	水辺の生き物の展示やまちなか水族館市民ボランティアの活動を通じて、市民の水辺環境の保全に関する意識の向上を図ります。						
(7) 事業概要	本庁舎など市民が多く集まる公共空間に水辺の生き物を展示した水槽を設置し、生き物の潤いを演出するとともに、市民への水辺環境の啓発を図ります。							
(8) H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		0	0	0	0	0	
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
	特定財源(C)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 まちなか水族館市民ボランティア活動回数	目標値	(単位:回)	50.00	50.00	/
			実績値	(単位:回)	51.00	51.00	
		達成度(%)		102.0	102.0		
	目標値の積算方法	週一回の清掃活動	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 まちなか水族館市民ボランティア数	目標値	(単位:人)	20.00	20.00	/
			実績値	(単位:人)	15.00	15.00	
		達成度(%)		75.0	75.0		
	目標値の積算方法	登録人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		市民が集まる空間に在来生態系を再現した水槽を展示することは、生物多様性の保全について考えるきっかけとなることから、引き続き市民ボランティアや企業ボランティアとの連携を進めます。また、生物多様性保全に関する啓発等について、取組みを検討していきます。				

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	まちなか水族館事業	事業区分	その他
事務事業番号	01301				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	10	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	10	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
(3) 効率性 (20点)	8	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	60	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	01301
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>毎週一回の清掃活動については、市民ボランティアと企業ボランティアで実施しています。しかしながら、登録しているボランティア全員が高齢のシニア層で年々活動が難しくなっているため、活動に参加するボランティアを増やすための方策を検討する必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	環境まちづくりガイドライン運用事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成23年	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	吹田市環境基本条例、吹田市第2次環境基本計画							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	3	細節	30	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	市民・事業者等						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	市民・事業者等に対する啓発及び環境に配慮する行動への誘導。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地球環境に配慮した行動を普及促進することにより、地球環境保全の推進を図り、持続可能な社会の実現。							
(7)	事業概要	<p>環境の保全及び環境負荷の低減を図るため、市民・事業者等が日常生活や事業活動において、とるべき行動や取組の実践例を示した配慮指針(環境まちづくりガイドライン【市民版】・【事業者版】・【キャンパスライフ版】)の普及を計ります。</p> <p>また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】において、市内の開発事業者に対して、建設事業の構想段階で検討すべき環境配慮項目について、指導・誘導を行います。</p> <p>【ヒートアイランド対策推進事業を統合】</p>							
(8)	H27事業別予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 ヒートアイランド対策の実施を求めた件数	目標値	(単位:件)	20.00	20.00	20.00	
			実績値	(単位:件)	12.00	14.00		
			達成度(%)		60.0	70.0		
	目標値の積算方法	環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】において事業者に計画書を提出させた件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 ヒートアイランド対策(省エネルギー・緑化も含む)の実施件数	目標値	(単位:件)	20.00	20.00	20.00	
			実績値	(単位:件)	12.00	14.00		
			達成度(%)		60.0	70.0		
	目標値の積算方法	環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】において事業者に計画書を提出させた件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		環境まちづくりガイドライン【ライフスタイル版】・【キャンパスライフ版】・【事業活動版】については、環境イベント等で配布することで、市民、事業者等に対して環境に配慮する行動へ誘導するツールとして活用しています。また、【開発・建築版】については、市内の開発事業者に対して事業の構想段階で検討すべき環境への取組項目(ヒートアイランド対策やエネルギー、緑化等)について、指導・誘導を行い持続可能な環境まちづくりを目指しています。					

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	環境まちづくりガイドライン運用事業	事業区分	その他
事務事業番号	01302				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	01302
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>【開発・建築版】においては、市内での開発等を行う事業者に対して、環境への配慮事項を示すものとして98項目について方針(案)、方針、実施報告書の届出を求めており、再生可能エネルギーの導入・省エネルギー機器の導入・ヒートアイランド対策・緑化等の指導を行っています。</p> <p>【市民ライフスタイル版】、【キャンパスライフ版】及び【事業活動版】については、環境イベントや講座等の開催時に配布し、広く周知を図っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	一般廃棄物処理基本計画見直し事業(廃棄物減量等推進審議会運営)				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成6年度	改正内容	審議会委員から市議会議員を削除。学識経験者を増員。						
(2)	直近の改正	平成24年度								
(3)	根拠法令等	吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例								
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)						
		一部にチェックした場合はその説明								
(5)	総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	3	細節	20		
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他				
		目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	一般廃棄物の減量等に関する事項						
		結果 (どのような効果が得られるのか)	調査審議を行うことにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに資源が有効利用されるリサイクル社会の形成を図ります。							
(7)	事業概要	吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例及び規則に基づき、市長の諮問に応じ、一般廃棄物の減量等に関する事項について調査審議を行い、答申するものです。								
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)		
		事業費(A)		0	0	0	0	7,586		
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	1.20	
			総額(B)	千円	0	0	0	0	9,804	
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	17,390		
		特定財源(C)		0	0	0	0	0		
		(内訳)	国		0	0	0	0	0	
			府		0	0	0	0	0	
			その他		0	0	0	0	0	
		市負担(D)		0	0	0	0	7,586		
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0	
			その他		0	0	0	0	0	
一般財源			0	0	0	0	7,586			
財源計(C+D)		0	0	0	0	7,586				
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施								
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①						
				②						
				③						
		主な委託内容								
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①								
		②								
		③								
<input type="checkbox"/> その他	内容									

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 開催回数(部会を含む)	目標値	(単位:回)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:回)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	開催見込み回数(部会を含む)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 一般廃棄物の減量等に関する施策の充実	目標値	(単位:なし)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:なし)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	なし	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	リサイクル推進の一環としてペットボトルの再資源化拡充			達成状況	ストックヤードの整備を完成
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		本審議会は5年毎の、一般廃棄物処理基本計画の見直し時に開催しているため、より効率的な運営を行えるよう審議会のあり方を検討します。				

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	一般廃棄物処理基本計画見直し事業(廃棄物減量等推進審議会運営事業)	事業区分	その他
事務事業番号	01303				

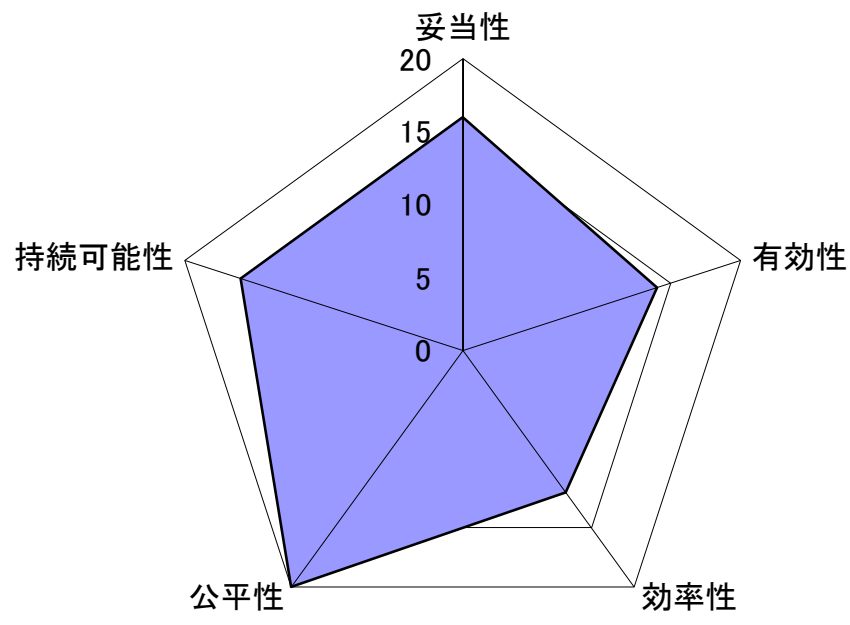
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	01303
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>一般廃棄物の減量等に関する施策について審議する場を確保することは、本市の環境行政を行う上で重要です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	環境白書作成事業(一般事務事業)				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和46年度	改正 内容	公害白書から環境白書に改名						
(2)	直近の改正	平成9年度								
(3)	根拠法令等	環境基本条例								
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)						
		一部にチェックした場合はその説明								
(5)	総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	3	細節	30		
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他				
		範囲等	一般市民							
		目標 (どういう状態にしたいのか)	毎年、本市の環境の状況を環境白書に取りまとめ公表します。							
	結果 (どのような効果が得られるのか)	環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画の推進								
(7)	事業概要	本市の環境の状況、環境の保全及び創造に関する施策の実施状況を環境白書で公表します。								
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)		
		事業費(A)		500	334	450	323	433		
		人件費	職員数	人	2.00	0.50	0.50	0.50	0.50	
			総額(B)	千円	16,600	3,974	4,176	4,020	4,086	
		総事業費(A+B)		17,100	4,308	4,626	4,343	4,519		
		特定財源(C)		0	0	0	0	0		
		(内訳)	国		0	0	0	0	0	
			府		0	0	0	0	0	
			その他		0	0	0	0	0	
		市負担(D)		500	334	450	323	433		
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0	
			その他		0	0	0	0	0	
一般財源			500	334	450	323	433			
財源計(C+D)		500	334	450	323	433				
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施								
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①						
				②						
				③						
		主な委託内容								
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①								
		②								
		③								
<input type="checkbox"/> その他	内容									

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	発行部数	目標値	(単位:部)	500.00	500.00	0.00	
			実績値	(単位:部)	500.00	600.00		
			達成度(%)		100.0	120.0		
	目標値の積算方法	発行予定数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.67	0.54	
				一般財源(単位:千円)		0.67	0.54	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) の3が困難な場合		①	活動内容	本市の環境の状況を環境白書に取りまとめ、公表します。			目標	毎年、本市の環境の状況を環境白書に取りまとめ、公表する。
	②	成果内容	環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画の推進			達成状況	環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画の推進	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		本事業は環境基本条例に基づき、本市の環境の状況、環境の保全及び創造に関する施策の実施状況について環境白書として公表するものです。					

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	環境白書作成事業(一般事務事業)	事業区分	その他
事務事業番号	01305				

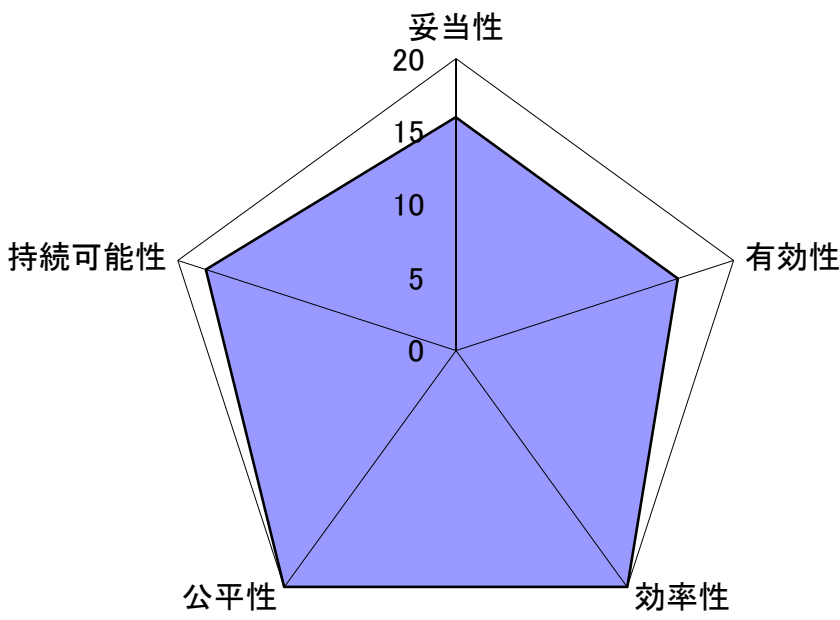
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	01305
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>環境白書は毎年、本市の環境の状況、環境の保全及び創造に関する施策の実施状況等を取りまとめ、冊子及びホームページにおいて、公表しています。また、カラー、写真及び図など多く使用し、市民にとって読みやすくするため、毎年改善を図っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

国及び大阪府は毎年継続して、環境白書を発行しています。

事務事業評価調書

事務事業名	吹田市環境基本計画見直し事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正 内容	なし					
(2) 直近の改正	なし							
(3) 根拠法令等	吹田市環境基本条例							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	3	細節	30	
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市第2次環境基本計画(環境の保全と創造に関連する施策及び事業)					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	吹田市環境基本計画を、社会情勢や環境の変化などをふまえた実効性のある計画とします。 環境全般に関する本市の方針の確認、検討がなされ、基礎自治体としての役割が明確化になり、環境の保全と創造に関連する施策及び事業が効果的に推進され、市民一人ひとりの環境に対する意識の高揚を図ります。						
(7) 事業概要	吹田市環境基本計画を、社会情勢や環境の変化などをふまえ、概ね5年ごとに中間見直しを行います。							
(8) H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		0	0	0	0	0	
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
	特定財源(C)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	今年度実施なし						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	なし	目標値	(単位:なし)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:なし)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	なし	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	見直しに際して、庁内検討会議及び環境施策調整推進会議により案を作成するとともに、環境審議会による審議、案に対するパブリックコメントを行い、改訂版に反映しました。			達成状況	平成26年3月に改訂版(概要版を含む)を策定しました。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>庁内検討会議や環境施策調整推進会議での検討、環境審議会での審議、パブリックコメントなど、計画の内容だけでなくそのプロセスまで、今後、効果的に進行管理が行えるよう配慮しました。また、内容についても、社会情勢や環境の変化、本市の課題に対応した計画に見直すことができました。妥当性や効率性など各視点について、事業の推進手法として適正であり、今後も継続していきます。</p> <p>計画の見直しという事業の性質から、次の検討や作業まで5年程度空いてしまうため、今回の手法において適正な点は引き継ぎ、検討し直す余地がある点については、更に検討して事業を進める必要があります。</p>					

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	吹田市環境基本計画見直し事業	事業区分	その他
事務事業番号	01306				

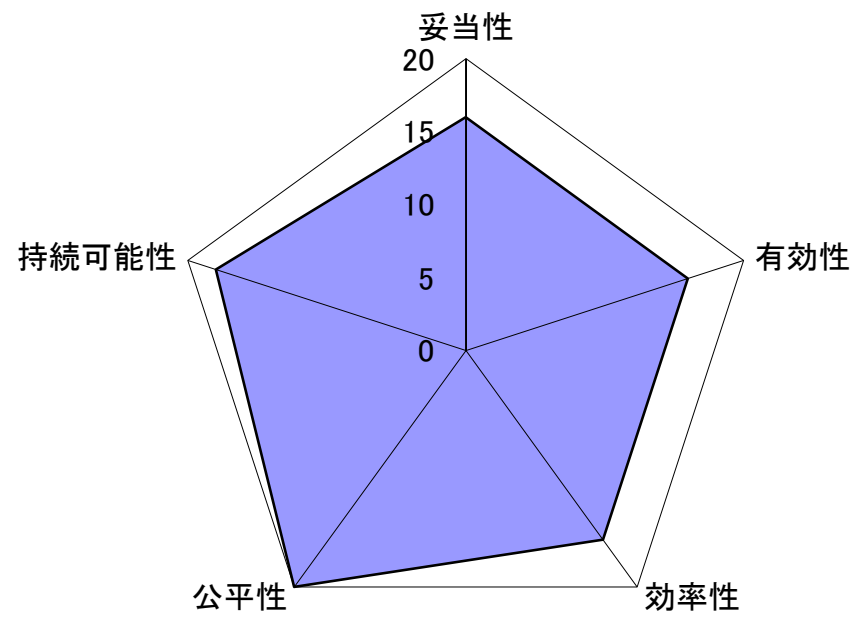
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	01306
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性をはじめ各視点からの評価結果については、概ね適正です。実施の方向性や手法など、様々な検討が可能であると考えられることから、今後も、有効性や効率性の向上に取り組む余地があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	すいた環境サポーター養成講座運営事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正内容	受講対象者をシニア層に限定することなく幅広い世代を対象とし、受講後は「すいた環境サポーター」として本市の環境活動に参加する人材を育成することを目的としています。											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	吹田市環境基本条例、吹田市第2次環境基本計画													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	3	細節	40							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	環境活動に心関心のある18歳以上の人(高校生を除く)で、市内在住在勤を問いません。											
	結果(どのような効果が得られるのか)	それぞれの家庭や地域において環境教育を実践するとともに、本市の各種環境イベントやボランティアの担い手として参画する人材を育成すること。												
(7) 事業概要	「すいた環境サポーター養成講座」の受講者が、受講後、それぞれの家庭や地域、組織の中で環境教育を実践するとともに、「すいた環境サポーター」として登録し、各種イベントやボランティアの担い手として参画する人材を育成することを目的としています。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	12	大事業	3	中事業	4	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	714	706	909							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00						
		総額(B)	千円	0	0	8,352	8,040	8,170						
	総事業費(A+B)		0	0	9,066	8,746	9,079							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		0	0	714	706	9,079							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		0	0	714	706	9,079								
財源計(C+D)		0	0	714	706	9,079								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	公募型プロポーザルにより決定										
			②											
			③											
	主な委託内容		講座内容の企画、講師への依頼、講座の運営											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 受講者数	目標値	(単位:人)	0.00	30.00	/
			実績値	(単位:人)	0.00	28.00	
			達成度(%)		0.0	93.3	
	目標値の積算方法 講座会場の収容人数と運営体制を勘案して算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	25.21		
			一般財源(単位:千円)	0.00	25.21		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 半分以上の受講を条件とした修了者数	目標値	(単位:人)	0.00	30.00	/
			実績値	(単位:人)	0.00	20.00	
			達成度(%)		0.0	66.7	
	目標値の積算方法 募集定員である30名全員が修了するものとして算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	35.30		
			一般財源(単位:千円)	0.00	35.30		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>本事業は、それぞれの家庭や地域で環境教育を実践するとともに、本市の各種環境イベントやボランティアの担い手として参画する人材を育成するための事業であり、環境教育の継続性を担保するうえで必要な事業です。受講対象者をシニア層に限定した「すいたシニア環境大学」とは異なり、18歳以上と幅を広げ実施していますが、学生や子育て世代の参加を誘導するのであれば、講座内容や曜日設定の工夫など、今後さらに検討していく必要があります。</p>				

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	すいた環境サポーター養成講座運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	01446				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	12	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	1	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	68	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	01446
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業は、環境問題全般を網羅的に学ぶことができ、修了生は、それぞれの家庭や地域において環境教育を実践しています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性に関して、教育現場や地域では環境教育サポーターの人材に対するニーズはあるものの、受講者数が定員割れであり、講座内容や曜日設定について検討する必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事業名称変更前の「すいたシニア環境大学運営事業」では、単独随意契約にて委託事業者を決定していましたが、講座内容も精査しながら幅広い世代に魅力的な講座となるよう、公募型プロポーザルで事業者を選定しています。

事務事業評価調書

事務事業名	地球温暖化対策新実行計画見直し事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、吹田市環境基本計画													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)											
		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり											
		節	3												
		細節	30												
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
			範囲等	吹田市域											
		目標 (どういう状態にしたいのか)	基礎自治体としての役割を踏まえ、市民及び事業者における低炭素社会行動への転換の促進。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市が掲げる目標の達成に向けて、市民や事業者等との連携・協働のもとで温暖化対策に関する施策及び計画を推進します。													
(7)	事業概要	平成23年度に策定した吹田市地球温暖化対策新実行計画を、社会情勢や環境の変化などを踏まえて中間見直しを行い、改訂版として策定します。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	12	大事業	3	中事業	5	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	0	3,661	3,456	0							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	1.20	1.20	0.00						
			総額(B)	千円	0	0	10,023	9,647	0						
		総事業費(A+B)		0	0	13,684	13,103	0							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		0	0	3,661	3,456	0							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	10	0						
一般財源			0	0	3,661	3,446	0								
財源計(C+D)		0	0	3,661	3,456	0									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社 総合環境計画 大阪支社										
				②											
				③											
		主な委託内容				なし									
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合	①	活動内容	現行の吹田市地球温暖化対策新実行計画を社会情勢や環境の変化などを踏まえて、平成27年度に見直します。			目標	現行の吹田市地球温暖化対策新実行計画を社会情勢や環境の変化などを踏まえて、見直し平成27年度に策定します。
	②	成果内容	吹田市地球温暖化対策新実行計画(改訂版)を策定しました。			達成状況	目標を達成しました。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		社会経済や関連する法制度の動向、本市を取り巻く情勢の変化、対策技術の向上など、計画を取り巻く背景の変化に対応するため、今後も定期的に計画を見直す必要があります。今後、計画を実効性の高いものにするため、市民・事業者に対する有効な取組の実施について、検討を進めます。				

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	地球温暖化対策新実行計画見直し事業	事業区分	その他
事務事業番号	01447				

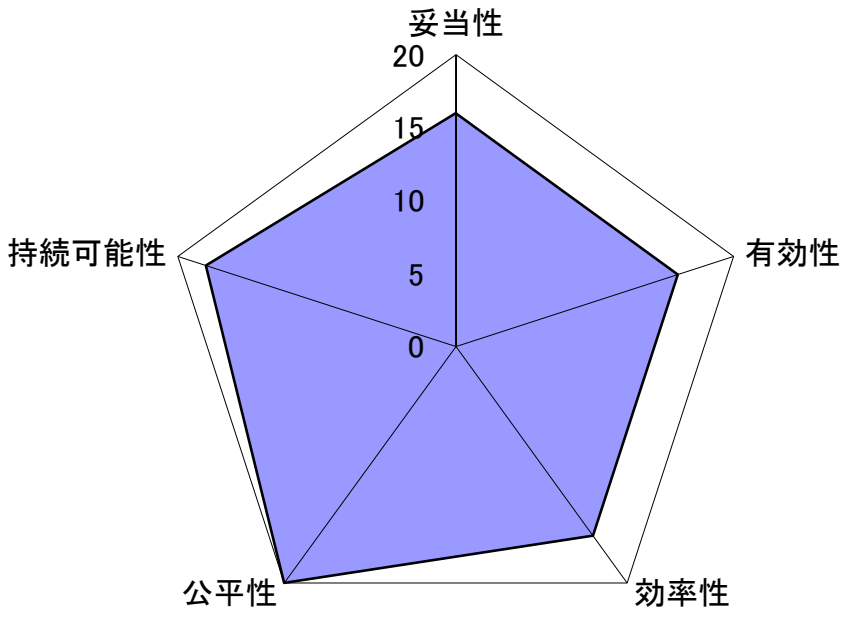
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	01447
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度は、平成23年度に策定した計画の見直しを実施し、吹田市地球温暖化対策新実行計画(改訂版)として策定しました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年(2015年)にパリで開催された気候変動枠組条約締約国会議(COP21)において、新たな法的枠組みとなる「パリ協定」が採択された。我が国はこの合意に先立ち、温室効果ガス排出量を平成42年度(2030年度)に平成25年度(2013年)比で26.0%削減することを表明しています。

事務事業評価調書

事務事業名	アジェンダ21すいた推進事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成17年度	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	なし													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	3	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市民、吹田市内事業者、市民団体、NPO団体												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	持続可能な社会の実現をめざす三者協働組織「アジェンダ21すいた」の推進												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地球環境の保全、持続可能な社会の構築													
(7)	事業概要	持続可能な社会の実現に向け、市民、事業者、行政が協働し「吹田市第2次環境基本計画」を実践する組織である「アジェンダ21すいた」の取組の推進を図ります。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	12	大事業	3	中事業	6	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		515	0	515	512	510							
		人件費	職員数	1.50	0.00	1.00	1.00	1.00							
			総額(B)	12,450	0	8,352	8,040	8,170							
		総事業費(A+B)		12,965	0	8,867	8,552	8,680							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		515	0	515	512	8,680							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	515		0	515	512	8,680									
財源計(C+D)		515	0	515	512	8,680									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	「アジェンダ21すいた」組織										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	アジェンダ21すいた会員数	目標値	(単位:人)	120.00	120.00	120.00
			実績値	(単位:人)	95.00	76.00	/	
		達成度(%)		79.2	63.3			
	目標値の積算方法	アジェンダ21すいた会員数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	130.80	6.74		
				一般財源(単位:千円)	130.80	6.74		
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容	地球環境に配慮したライフスタイル、事業活動への転換をはかるため、みどりのカーテン講座や環境家計簿など、各種啓発活動を行います。			目標	温室効果ガス排出量(吹田市域)平成2年度(1990年度)比で平成32年度(2020年度)25%以上削減。		
	②	成果内容	吹田市域におけるエネルギー使用量等からCO2換算を行い、積算します。			達成状況	活動の成果となる年度の数値については、現在積算できていない。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		多彩な活動を実施するにあたっては安定した財政基盤が必要です。会員拡大など今後の課題として検討すべきことはありますが、費用対効果を考えると現在の負担金は他市に比べても適切であると考えます。また、平成27年度から組織の目標を吹田市第2次環境基本計画の推進としたことから、本市と連携した子ども版環境家計簿の推進など、市民や事業者等のライフスタイル等の転換などに寄与する具体的な事業を実施していることから、継続すべきと考えます。					

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	アジェンダ21すいた推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	001448				

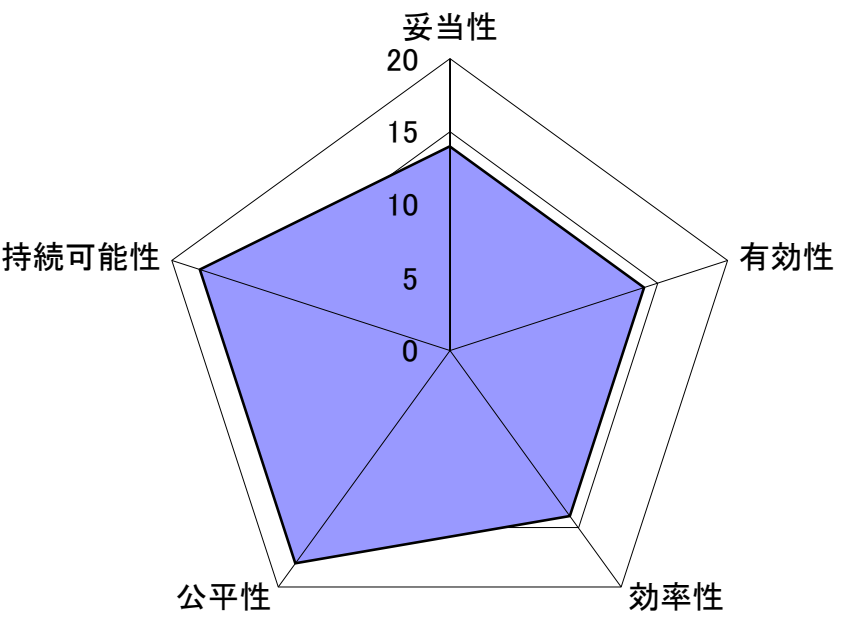
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
(3) 効率性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(4) 公平性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
		評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境政策室	事務事業番号	001448
-----	-------	--------	--------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>「アジェンダ21すいた」は持続可能な社会を実現することを目標とした市民・事業者・行政の三者協働の組織であり、設立後10年が経過しました。平成27年度より、組織の目的を「アジェンダ21すいた(計画)」(平成26年度末をもって終了)の推進から、「吹田市第2次環境基本計画」の実践へと改正を行ったことから、環境教育の実践など、より具体的な三者が連携した協働事業を進めているところです。今後、持続可能な社会の実現に向けて、さらなる活動の活性化が期待されています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	森林保全事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正内容	行政不服審査法の施行に伴う文言等の修正				
(2) 直近の改正	平成26年						
(3) 根拠法令等	森林法						
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	2	細節	10
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市内の風致保安林				
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市町村森林整備計画の策定と風致保安林の保全整備					
(7) 事業概要	森林法に基づいて大阪府が策定する地域森林計画において、市内3か所の森林が風致保安林に指定されている。この風致保安林に対して、5年ごとに10年を1期とする市町村森林整備計画を策定する。また、病害虫による枯死を防ぐための防除措置を講じるなど、風致保安林の積極的な保全整備に努める。						
(8) H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		0	0	0	0	2,179
	人件費	職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.30
		総額(B)	0	0	0	0	2,452
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	4,631
	特定財源(C)		0	0	0	0	1,410
	(内訳)	国	0	0	0	0	0
		府	0	0	0	0	1,410
		その他	0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	0	0	769
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	769	
財源計(C+D)		0	0	0	0	2,179	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪府森林組合三島支店			
			②				
			③				
	主な委託内容		風致保安林ナラ枯れ緊急対策				
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	ナラ枯れの被害が発生している風致保安林に、緊急対策として防除事業を実施した。			目標	健全な森林の保全
	②	成果内容	伐倒くん蒸処理 計12本 樹幹注入処理 計41本			達成状況	森林に対する病虫害防除事業の効果はただちに表れるものではなく、継続的な調査と防除を実施する必要がある。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		法に基づき今後も実施していく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	森林保全事業	事業区分	その他
事務事業番号	01486				

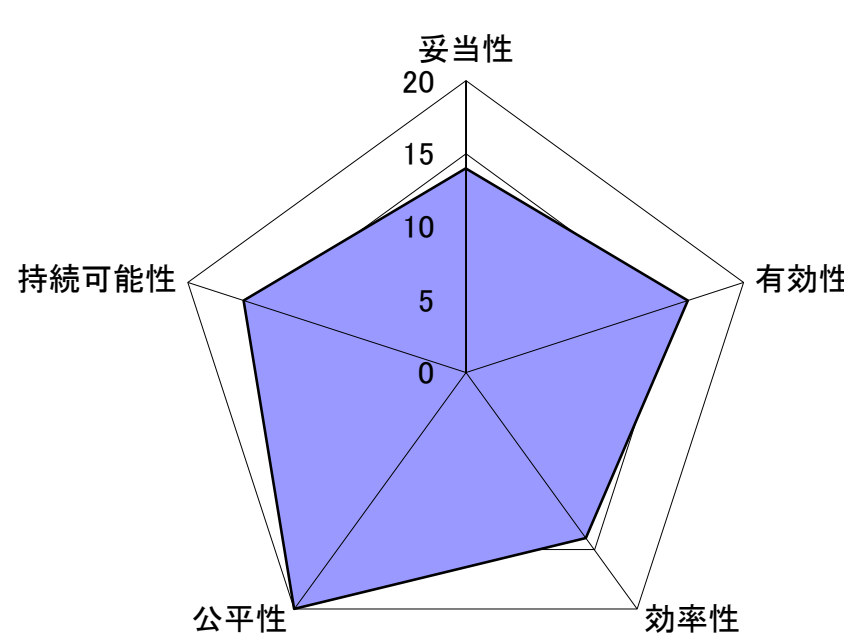
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16			
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	01486
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>森林法に基づいて大阪府が策定する地域森林計画において、市内3か所の森林が風致保安林に指定されている。この風致保安林に対して、5年ごとに10年を1期とする市町村森林整備計画を策定する。また、病害虫による枯死を防ぐための防除措置を講じるなど、風致保安林の積極的な保全整備に努める。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

森林病害虫等の防除措置には、国庫補助(1/2)と府補助(1/4)が交付される。

事務事業評価調書

事務事業名	大学省エネルギーワーキング事務事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成23年度	改正内容	吹田市地球温暖化対策新実行計画の見直しを行い、改訂版を策定した。					
(2) 直近の改正	平成27年							
(3) 根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、吹田市環境基本計画、吹田市地球温暖化対策新実行計画							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	3	細節	30	
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市内の大学・研究機関					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	大学・研究機関における省エネルギーの推進						
(7) 事業概要	<p>本市では、「吹田市第2次環境基本計画」「吹田市地球温暖化対策新実行計画(改訂版)」において、平成32年度(2020年度)までに市域の温室効果ガス排出量を平成2年度(1990年度)比25%以上削減するという目標を掲げています。この目標を達成するため、温室効果ガスの多量排出事業者である市内の大学・研究機関によるワーキンググループを組織し、連携して、各事業所での省エネルギー及び温室効果ガス排出量の削減を進めます。本市が事務局を務めています。</p>							
(8) H27事業別予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		0	0	0	0	0	
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
	特定財源(C)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	会議開催	指標内容	目標値	(単位:回)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:回)	0.00	2.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	市域の年間エネルギー消費量	指標内容	目標値	(単位:PJ)	15.90		15.90
			実績値	(単位:PJ)	20.10	19.70		
			達成度(%)		126.4	123.9		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		本市の年間エネルギー消費量は減少傾向にあるものの、温室効果ガス排出量は増大しています。目標達成のためには、今後もさらなる省エネルギーの推進が必要です。					

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	大学省エネルギーワーキング事務事業	事業区分	その他
事務事業番号	01487				

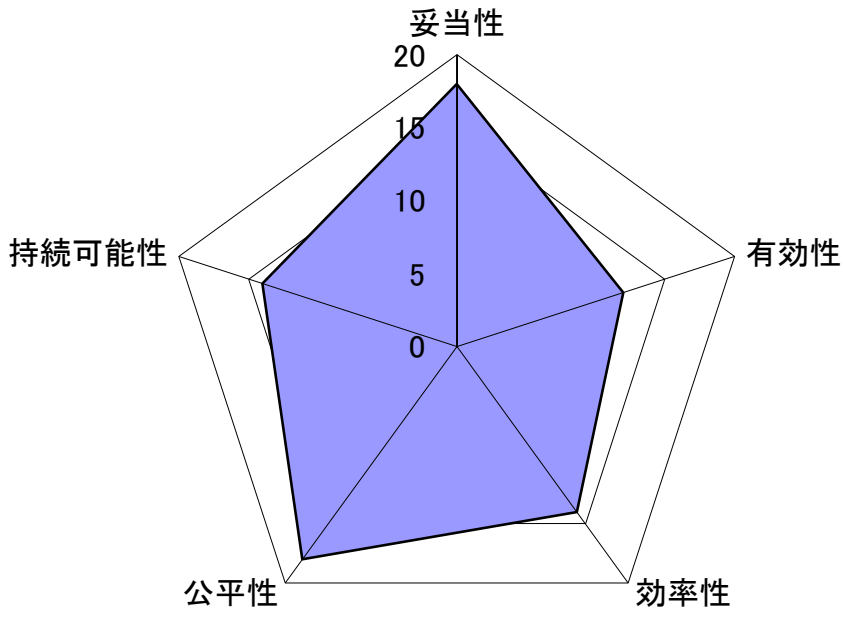
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	01487
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (0-20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (0-20)	妥当性	18	有効性	12	効率性	10	公平性	5	持続可能性	15
視点	評価結果 (0-20)														
妥当性	18														
有効性	12														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	15														
(3)現状分析	<p>本市では、「吹田市第2次環境基本計画」「吹田市地球温暖化対策新実行計画(改訂版)」において、平成32年度(2020年度)までに市域の温室効果ガス排出量を平成2年度(1990年度)比25%以上削減するという目標を掲げています。この目標を達成するため、温室効果ガスの多量排出事業者である市内の大学・研究機関に事業概要によるワーキンググループを組織し、連携して、各事業所での省エネルギー及び温室効果ガス排出量の削減を進めます。本市が事務局を務めています。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年(2015年)にパリで開催された気候変動枠組条約締約国会議(COP21)において、新たな法的枠組みとなる「パリ協定」が採択されました。我が国はこの合意に先立ち、温室効果ガス排出量を平成42年度(2030年度)に平成25年度(2013年)比で26.0%削減することを表明しています。